

各都道府県 $\left[\begin{array}{l} \text{衛 生 主 管 部 (局) 長} \\ \text{消 防 防 災 主 管 部 (局) 長} \end{array} \right]$ 殿

厚生労働省医政局地域医療計画課長
(公 印 省 略)
消 防 庁 救 急 企 画 室 長
(公 印 省 略)

令和8年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第1回）の開催について

全国的なメディカルコントロール体制の更なる充実強化を図ることを目的に、下記のとおり、今年度第1回目の全国メディカルコントロール協議会連絡会を開催します。

つきましては、貴都道府県の衛生主管部（局）及び消防防災主管部（局）のメディカルコントロール協議会担当者の出席について御配意いただきますようお願いいたします。

また、貴都道府県内のメディカルコントロール協議会に関わる市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）、関係医療機関及び地域メディカルコントロール協議会事務局に対して、この旨連絡いただきますようお願いいたします。

記

1 日 時

令和8年7月16日（木） 15時00分から18時00分まで

2 場 所

大阪府立国際会議場

（大阪府大阪市北区中之島5丁目3番51号） 別添1参照

3 内容及び主催団体等

別添2参照

4 留意事項

全体の出席者数が定員に達した場合は、立ち見となる可能性がございますので御了承ください。

【お問合せ先】全国メディカルコントロール協議会連絡会事務局

○ 厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室 森田、作山、岡本
電話 03-5253-1111（内線 2550）

○ 総務省消防庁救急企画室 青木、長谷、山名、植田、神
電話 03-5253-7529（内線 42354）

【大阪府立国際会議場周辺地図】

大阪府立国際会議場

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3番51号

TEL. (06) 4803-5555 (代表)



交通アクセスマップ TRAFFIC ACCESS MAP



- 最寄り駅のご案内**
- 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)」駅(2番出口すぐ)
 - JR環状線「福島」駅(2番出口)から徒歩約15分
 - JR東海道線「新福島」駅(2番出口)から徒歩約10分
 - 阪神電車「福島」駅(3番出口)から徒歩約10分
 - 地下鉄「阿波羅」駅(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

- Nearest stations guide**
- Keihan Nakanoshima Line: Next to Exit No.2 of Keihan Nakanoshima (Osaka International Convention Center) Station.
 - JR Loop Line: 15-minute walk from Fukushima Station.
 - JR Toei Line: 10-minute walk from Exit No.2 or No.3 of Shin-Fukushima Station.
 - Hanshin Railway: 10-minute walk from Exit No.2 of Fukushima Station.
 - Subway: 15-minute walk from Exit No.1 of the Central Line or Exit No.3 of the Senrikyu Line of Awaza Station.

京阪電車中之島線「中之島駅（大阪国際会議場）」2番出口より すぐ

JR 大阪環状線「福島駅」より 徒歩 約 15 分

令和8年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第1回)プログラム

I 概要

日時

令和8年7月 16 日(木) 15 時 00 分から 18 時 00 分まで

場所

大阪府立国際会議場(大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3 番 51 号)

II プログラム

1 開会

(5 分)

○全国メディカルコントロール協議会連絡会 横田 順一郎 会長 ご挨拶

2 第1部 講演

(120 分、講演時間:1人 20 分、質疑応答 10 分)

座長: 名古屋大学医学系研究科 救急・集中治療医学分野教授 松田 直之 先生

○救急搬送支援システムの現場実装に向けた広島県の取組

～TYPES 先行モデルの構築と令和8年度の展開～

広島県健康福祉局健康危機管理課 救急・災害医療体制グループ 主査 小山 智士 先生

○救急救命九州研修所での指導救命士研修 これまでとこれから

救急救命九州研修所 専任教授 田口 健蔵 先生

～休憩(10 分)～

座長: 社会医療法人社団 正志会 救急災害医療連携・DX 推進部門長 森村 尚登 先生

○救急救命士法改正に伴い変化した病院救命士業務と今後の展望

一埼玉医科大学グループにおける取り組み一

埼玉医科大学国際医療センター 教育支援センター副センター長 岸田 全人 先生

○救急現場活動の本質とは何か 一歴史的経緯とこれからの展望一

堺市立病院機構 顧問 横田 順一郎 先生

～休憩(10 分)～

3 第2部 報告・情報提供

(30 分、報告時間:1人 10 分)

○報告1 海上保安庁からの情報提供

海上保安庁 警備救難部救難課 医療支援調整官 中澤 克元

○報告2 厚生労働省からの情報提供

厚生労働省 医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室

病院前医療対策専門官 森田 夏広

○報告3 消防庁からの情報提供

消防庁 救急企画室 救急専門官 青木 大宗

4 閉会

(5 分)

III 主催団体等

主催: 厚生労働省、消防庁 共催: 公益社団法人日本医師会

後援: 一般財団法人救急振興財団、全国消防長会、一般社団法人日本救急医学会、一般財団法人日本救急医療財団、

公益社団法人日本麻酔科学会、一般社団法人日本臨床救急医学会、全国衛生部長会、全国保健所長会、

都道府県消防防災・危機管理部局長会